

あ お も り 町村 自治

2019 **4** No.1222

平成31年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
自治功労者表彰名簿	4
道路除排雪経費に対する 特別交付税の配分に関する要望	5
まちづくりへの挑戦 佐井村	12
いまが旬!	14
随想 山崎外ヶ浜町長	18



蟹としろうおまつり

そとが はままち
外ヶ浜町

4月下旬から5月上旬まで開催される「蟹としろうおまつり」。イベント開催中、産卵のために川をのぼる“しろうお”を、蟹田橋付近の上流にヤナをかけて漁をしています。河口付近の特設店「かにた川」では、とれたてのしろうおをたっぷり使った料理を楽しむことができます。濃厚なカニミソがたっぷりのトゲクリガニとあわせてお楽しみください。

漁の状況次第では提供できない場合もございますので、ご確認の上、お越しください。

本会定期総会

地方創生の推進、地方交付税等の一般財源総額確保など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長はじめ44人が出席

本会は二月十九日、青森市の青森国際ホテルで定期総会を開催し、平成三十一年度事業計画及び予算などを決定したほか、地方創生の推進など十項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功労者の表彰を行った。



関会長があいさつ

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など四十四人が出席した。

はじめに関会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの荣誉に對し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。平成三十一年度の地方財政対策では、前年度を上回る一般財源額が確保され、中でも地方交付税が七年ぶりに前年度を上回るとともに、臨時財政対策債が抑制されるなど、我々町村の財政運営に配慮された結果となった。今後も、技術革新や経済のグローバル化など社会が速いスピードで変化していくものと思われるが、我々町村長は、社会経済状況を見極め、これからも力を合わせ、地域の個性を最大限に發揮しながら地域振興施策を展開し、住民一人ひとりが『この

町や村に住んで良かった』と実感できる町村の実現のために、邁進していこうではないか」と述べた。

表彰

自治功労者

総会では、全国町村会表彰として自治功労者の三村前おいらせ町長（欠席）、山田大鰐町長を表彰したほか、県町村会表彰として自治功労者の吉田深浦町長、山田平内町副町長のほか、一般職員百八十六名（代表・田子町 高岸登紀子氏）に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して吉田深浦町長が謝辞を述べた。

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の野呂県町村議会議長会長、米田県総務

部市町村課長が紹介された。



三村知事が来賓祝辞を述べる

議事

平成三十一年度

予算を決定

引き続き、関会長が議長となつて議事に入り、平成三十一年度事業計画案及び予算案など議案四件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、浜谷副会長が地方創生の推進や地方交付税等一般財源総額の確保など十項目の決議を朗読し、満場一致で採択した。なお、決議の実行運営方法については、理事会に一任することとした。

○議案第一号 平成三十一年度青森県町村会事業計画



決議文を読み上げる浜谷副会長

案（抜粋）Ⅱ町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源かん養、自然環境の保全等、極めて大きな役割を果たしてきた。しかしながら、町村は、急速な少子高齢化や人口減少、労働力不足など、多くの課題を抱えており、また総じて税源に乏しく、厳しい財政運営を余儀なくされている。

住民に最も身近な町村が、将来にわたり住民の安全・安心を確保する重責を担い続けていくためには、財政基盤の充実・強化が不可欠である。加えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会の実現の

ため、町村は自主的・自立的に地域特性や資源を活かした様々な施策を展開していかなければならない。

このため、平成三十一年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。

また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。

共済関係事業については、公有財産の保全、町村職員的生活安定を図る立場から、市町村等に対して、加入・継続を積極的に推進し、もって町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第二号 平成三十一年度青森県町村会会費案Ⅱ会費総額は、六百七十七万三千元と

決議（項目抜粋）

- 1 一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること
- 1 「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、グローバル経済に対応した農林水産業の強力な振興施策、米国との貿易交渉並びにTPP11及び日欧EPA対策について万全を期すこと
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 地方分権改革を推進すること
- 1 急速に進行する少子高齢化や人口減少に対応した医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること
- 1 防災・減災・老朽化対策を強力に推進するとともに、道路、河川、生活環境等の積極的な整備促進を図ること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出や労働力確保対策等、経済・雇用施策を強力に推進すること
- 1 地域の魅力をより一層高めるとともに、陸路、海路、空路の交通網を活用した観光振興を推進し、交流人口の拡大を図ること
- 1 道州制は導入しないこと

する。

○議案第三号 平成三十一年度青森県町村会一般会計予算案Ⅱ収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億八千三百四十五万四千円（対前年度比

二千四百四万千円七・八%

減）とする。

○議案第四号 平成三十一年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案Ⅱ経常

収支計を、四千二百九十五万六千円とする。

受賞おめでとうございませう

全国町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職四期以上退任）

上北郡 おいらせ町長

三村正太郎

町村長（就任三期）

南津軽郡 大鰐町長

山田 年伸

青森県町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

西津軽郡 深浦町長

吉田 満

副町村長（在職十五年以上）

東津軽郡 平内町 副町長

山田 光昭



謝辞を述べる吉田深浦町長

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 小林正人、須藤誠一、後藤久志、亀田しげ子、宿野部智子

外ヶ浜町 三上豊、加藤美和、工藤由紀子、瀧本深雪、越田明、笹木美津子、細田幸樹、掛村香寿美、三浦政宗

蓬田村 高田一憲

鱒ヶ沢町 太田稔、清野彰史、工藤幸仁、神広丈、白取輝也、一戸浩尚、小沼卓志、清野守、齋藤和裕、吉田孝太郎、葛西準也

深浦町 黄金崎芳幸、鈴木治朗、齊藤徹伸

西目屋村 齋藤裕行

藤崎町 久保田育子、成田泉、境輝幸、佐藤健、成田康治、横嶋和哉

大鰐町 工藤妙織、対馬てつ子、福土千明、高木ひとみ

田舎館村 阿保春仁、中村甲一郎、小野淳也、浅利高年、佐藤勝彦、喜多島啓

板柳町 工藤園美、伊藤和子、八木橋太、楠美仁康、藤田芳子、葛西文子、佐藤早苗、野宮恵子、横澤美由貴、山口祐子、小枝郁子、工藤高久

鶴田町 笹森悦子、寺山好典、工藤大志

中泊町 宮越裕子、三上康栄、山中哲哉、三上麻木子、鎌田暢尚、小林真紀

野辺地町 玉山順一、寺澤いづみ、上野優、川村志信

七戸町 田嶋史洋、井上健、西野勝夫、阿部泰晴、佐々木祐一、佐々木智恵子

六戸町 澤口俊博、円子国浩、吉田史明、田中洋、小林恵、若槻律子

横浜町 古郡友哉

東北町 附田誠吾、新山真、附田留美子、島川達哉、坂本司

おいらせ町 澤口誠、福田輝雄、柏崎勝徳、中里浩、吉田友紀、成田繁明

六ヶ所村 村畑貞子、田中義孝、中嶋賢悟、佐々木恵理子、赤石雄樹、長根直子

大間町 増山涉

東通村 石田馨、宮本憲明、川畑誠、中西満春、賀佐貴彦、菊池敢世、大槻伸、澤田早人

風間浦村 皆野雅彦、北川丈美

佐井村 石戸貴広

三戸町 齋藤優、中村正、井畑百香、木村健、田村京子、藤田恵子、和田雅子

五戸町 黄川田千賀子、中村千加子、山田市子、竹洞晴生、坂本慎香、小野寺克仁

田子町 坂下勝彦、高岸登紀子、小林靖典、石井嘉法、木谷健悦

南部町 石橋一史、宮崎典子、栗山光弘、角美津代、石塚美郷、千葉茂夫、宮木昌志、河原美奈子、松橋勉、鈴木義貴、赤石恵史子、青山博文、中野さとみ、小田原孝治

新郷村 中鶴間淳子

中部上北広域事業組合 佐々木順子、亀田知重紀、田高智恵子、稲垣ちえみ、吹

越豊、蛭名達也、戸田浩徳、福山真知子、蛭名祝子、野月健一、一戸裕子、山田加奈子、苦米地志耕、蛭名朝、下モ内宰相、工藤哲朗

北部上北広域事務組合 久保田昌明、萩生寿幸、吉田晴美、亀田満春、杉本英樹、柏葉裕司、高村秀昭、前田貴仁、松館直人、松館桂、村田俊樹、戸田真也、三浦和弘、高村和幸、荒川誉学、吹越由美子、松館郁子、三戸美香子、山端裕子

西海岸衛生処理組合 角谷義如、村元忠幸

鱒ヶ沢地区消防事務組合 齋藤和俊、後藤晴史、崎野琢也

受賞者の方々（左から山田大鰐町長、吉田深浦町長、山田平内町副町長、田子町の高岸氏）



受賞者の方々（左から山田大鰐町長、吉田深浦町長、山田平内町副町長、田子町の高岸氏）

道路除排雪経費の 財政支援等を要望

県・市長会と合同で
総務省・国土交通省に



総務省の安田事務次官に要望内容を説明



国土交通省の森事務次官に要望

本会は二月十五日、東京都内で、県、県市長会との合同により、道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に関して総務省へ、財政支援に関して国土交通省へ要望した。

これは、町村の除排雪作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財政支援を求め実施したもの。

要望には三村知事のほか、市長会から小野寺会長、本会から関会長が参加した。当日は、総務省では安田事務次官、

林崎自治財政局長、多田大臣官房審議官、大沢自治財政局財政課長に、国土交通省では森事務次官、池田道路局長に面談のうえ、要望活動を行ったほか、県選出国会議員には、道路除排雪関連経費の財政支援について要望書を提出した。

また、県市長会との連名により、総務省と県選出国会議員に対して、風しんに関する追加的対策の実施に係る財政措置等についての緊急要望書を提出した。

緊急要望書（項目抜粋） 風しんに関する追加的対策の実施に係る 財政措置等について

1. 風しんに関する追加的対策については、市区町村に財政負担が生じることがないように、国の責任において必要な財源を確保し、全額国庫負担で行うこと。
2. 事務負担の増加に伴う人件費やシステム改修経費をはじめ、円滑な事務処理に必要な経費に対しても同様の財政措置を講じること。
3. 居住地のみならず居住地以外の医療機関等においても、抗体検査及び予防接種を受けることができる全国規模の広域性を持った内容であることから、抗体検査及び予防接種に係る標準単価の設定の他、休日・夜間における実施体制の整備等、国の責任において実施体制の整備を行うこと。
4. 国は、地方自治体及び関係機関が、対象者に対して新制度を確実に周知でき、混乱なく円滑に業務を運営するために必要な準備作業に着手できるよう、事務処理要領の策定を急ぎ、早急に各種様式のひな形等を示すこと。

平成30年度道路除排雪経費に対する 特別交付税の配分に関する要望

今冬は、12月下旬から1月上旬にかけて強い冬型の気圧配置が続き、津軽地方を中心に雪の降る日が多かったほか、平年を上回る積雪量を記録した地域もあり、道路交通障害等、住民生活に大きな支障を来しております。

このような状況に対応するため、本県町村は、住民生活の安全・安心の確保、及び地域経済活動を図ることから、通勤・通学路などの生活道路の除排雪等に全力を挙げて取り組んでおります。

そのような中、増大する除排雪経費のため、既に補正予算を編成し対応している町村もあり、本格的な降雪期を迎え、除排雪経費の更なる追加など多額の財政支出が見込まれます。

つきましては、本県町村の現状及び厳しい財政状況をご賢察のうえ、平成30年度の道路除排雪経費に対する特別交付税の配分について、特段の御配慮をお願いします。

平成31年度 事業計画などを審議

平成31年第1回理事会・生協支部委員会

本会は二月十九日の定期総会に先立ち、二月五日、青森市のアップルパレス青森で、平成三十一年第一回理事会を開催した。出席者は、関会長をはじめ役員町村長十人。

理事会では、平成三十一年度事業計画などの議案四件及び、報告一件並びに、定期総会次第案などの協議事項六件

について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案は二月十九日開催の本会定期総会に提出することとした。

議案

- 議案第一号 平成三十一年度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 平成三十一年度青森県町村会会費案
- 議案第三号 平成三十一年度青森県町村会一般会計予算案

○議案第四号 平成三十一年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案

○報告第一号 専決処分した

事項の報告及び承認を求める件（平成三十年専決第一号）青森県町村会職員服務規程の全部を改正する規程）

協議事項

- 協議事項一 平成三十一年第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項二 決議案について
- 協議事項三 平成三十二年度予算編成及び施策に関する要望運動（案）について
- 協議事項四 町村長の健康管理研修案について
- 協議事項五 北東北三県町村長中央研修会・交流会の実施について
- 協議事項六 平成三十一年

の町村会会長等の選任について

第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国町村職員生活協同組合県支部は委員会を開催し、議案一件を原案どおり承認、決定し、本会定期総会に報告することとした。

議案

○議案第一号 平成三十一年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案

本会新常務理事兼 事務局長に原田氏 を選任

正副会長・理事・監事・
政務調査委員長・顧問合同会議

本会は三月二十二日、青森市のラ・プラス青い森で平成三十一年正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合

同会議を開催した。出席者は、関会長をはじめ役員町村長十人。

合同会議では、本会常務理事兼事務局長の選任及び平成三十一年度市町村長会議（町村の部）における提言事項について協議し、原案どおり決定した。

議案及び協議事項は次のとおり。

議案

○議案第一号 青森県町村会常務理事兼事務局長の選任について同意を求める件※小笠原常務理事兼事務局長が平成三十一年三月三十一日をもって任期満了となることから、後任に原田氏を選任した。（就任年月日、平成三十一年四月一日）

協議事項

- 協議事項一 平成三十一年度市町村長会議（町村の部）について※次の十項目を同会議において提言することを決定した。
- 1 地方創生の推進について
- 2 町村財政基盤の充実強化について



市町村長会議の提言事項を協議

- 3 電子行政の推進について
- 4 海岸漂着物等の対策について
- 5 医療・保健・福祉・子育て支援施策の推進について
- 6 雇用施策の推進について
- 7 農林水産業の振興について
- 8 社会基盤の整備促進等について
- 9 観光客誘客対策の強化について
- 10 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について

平成31年度 予算など決定

総合事務組合議会定例会

議案

○議案第一号 平成三十一年度組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八億七千五百四十万六千円（対前年度比五百八十六万二千円、○・六七%増）とする。

○議案第二号 平成三十一年度組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ七千二百三十二万七千円（対前年度比一千三百七十二万四千円、十五・九%減）とする。

○議案第三号 青森県市町村総合事務組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案Ⅱ働き方改革



関管理者が提案理由を説明

を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成三十一年法律第七十一号）が平成三十一年四月一日から施行されることに伴う国家公務員への措置に準じて、本組合職員に対する超過勤務命令を行うことができる上限等を定めるための所要の改正を行う必要があることから、提案するものである。

○議案第四号 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更についてⅡ南黒地方福祉事務組合が平成三十一年三月三十一日をもって解散することに伴い、青森県市

町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同退職手当組合規約の変更について、同退職手当組合から協議があったことから、地方自治法第二百八十六条第一項及び同法第二百九十条の規定に基づき、提案するものである。

○報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めめるの件（組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（専決第一号））Ⅱ青森県職員の給与改定に準じ、本組合職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の額等の改定を行う必要が生じたが、議会を招集する暇がないため専



平成31年度予算などを審議

決処分したことからこれを報告し、その承認を求めめるものである。



青森県町村会
常務理事兼
事務局長
はらた けいいち
原田 啓一

略歴

昭和57年4月	県地域振興課主事
平成11年4月	地域振興課地域振興班長
平成13年4月	政策推進室総括主幹
平成16年4月	企画課総括主幹
平成17年4月	情報システム課副参事
平成20年4月	政策調整課副参事
平成21年4月	I T E R 支援室長
平成22年4月	原子力立地対策課長
平成23年4月	企画調整課長
平成23年6月	原子力施設安全検証室長
平成25年4月	環境生活部次長
平成26年4月	企画政策部次長
平成27年4月	企画政策部理事
平成28年4月	企画政策部長
平成31年3月	定年退職

日本のエネルギーを考える

エネルギー政策特別委員会

本会は二月八日、青森市の青森国際ホテルでエネルギー政策に関する研修会を開催した。出席者は町村長をはじめ町村の幹部職員四十一人。

はじめにエネルギー政策特別委員会の関委員長（西目屋村長）があいさつした後、NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員でU3InnovationsLLP共同創業者・代表取締役の竹内純子氏が「エネルギー産業の2050年ー日本のエネルギーの課題と展望」と題し、講演した。



エネルギー政策について講演する竹内氏

竹内氏は「日本のエネルギーは、人口減少・過疎化、脱炭素化、分散化、制度改革、デジタル化の五つの課題に直面しており、今、しなければならぬことが三つある。一つ目は、エネルギー政策の基本である3E+S（エネルギーの安定供給・経済効率性・環境への適合・安全性）に立ち返ること。二つ目は、再生可能エネルギー普及政策の修正と、原子力政策への国の覚悟を固めること。再生可能エネルギーを増やしたいならば

できるだけ安く電力を供給するべきであり、経済的な観点だけではなく自然環境との調和も取る必要がある。三つ目は、来るべき人口減少・過疎化社会に向けたインフラ整備の在り方を議論すること。人口減少・過疎化社会は、エネルギーインフラを含め、社会インフラに大きく影響を与える。」と述べ、出席者は今後のエネルギー政策について理解を深めた。

青森県町村長等名簿

平成31年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区分		町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	2	31.11.14	山田光昭
	今別町	中嶋久彰	S30. 7.18	1	33.10.12	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	1	33. 4.23	宮本一男
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	2	33.11. 8	工藤洋一
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	1	33.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	3	32.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村	関和典	S42. 2.24	4	34. 2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	2	31.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	3	34. 7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2.10	4	32.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28. 3. 4	1	31. 4.29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	2	34. 8.20	成田正利
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	1	33. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24. 8.16	2	31.10.26	松山英樹
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	4	33. 4.23	似鳥和彦
	六戸町	吉田豊	S25. 3.28	7	32. 1.27	
	横浜町	野坂充	S26. 1.31	4	32.12.11	新渡喜広
	東北町	蛭名鉦治	S34. 9.23	1	33. 4.23	向井正弘
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	2	34. 3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	2	34. 7. 6	橋本晋
下北郡	大間町	金澤満春	S25. 3. 9	4	33. 1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17. 1. 7	6	33. 4.12	林春美
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	1	33. 2.18	
	佐井村	樋口秀視	S26. 4.10	2	34. 4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	1	32.12.15	馬場浩治
	五戸町	三浦正名	S29. 1. 1	5	31. 6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	2	32. 1.14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	6	34. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	浜谷豊美	S31. 8.23	4	33.12.23	沼沢範雄
	新郷村	櫻井雅洋	S27. 5.25	1	33. 5.28	



特選 東北町「広報とうほく」

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、一月二十一日、青森市の県共同ビルで平成三十一年県広報コンクール審査を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙二十三点、写真四十四点、映像二点の応募があった。

六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で東北町の「広報とうほく」（平成30年12月号）が初めての特選、むつ市の「広報むつ」（平成30年9月号）が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。

平成31年県広報コンクール
広報紙総合の部
「広報とうほく」が初特選



準特選 むつ市「広報むつ」

平成31年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門（総合の部）		
特選	東北町	「広報とうほく」 12月号※
準特選	むつ市	「広報むつ」 9月号※
広報紙部門（市部）		
入選	弘前市	「広報ひろさき」 11月1日号
佳作	平川市	「広報ひらかわ」 10月号
奨励賞	十和田市	「広報とわた」 11月1日号
広報紙部門（町村部）		
入選	板柳町	「広報いたやなぎ」 11月号
佳作	鶴田町	「広報つるた」 11月15日号
佳作	おいらせ町	「広報おいらせ」 7月号
奨励賞	外ヶ浜町	「広報そとがはま」 8月号
奨励賞	階上町	「広報はしかみ」 12月号
広報写真部門（一枚写真の部）		
入選	東北町	「広報とうほく」 4月号※
佳作	横浜町	「広報よこはま」 6月号
奨励賞	田舎館村	「広報いなかだて」 9月号
広報写真部門（組み写真の部）		
入選	田舎館村	「広報いなかだて」 3月号※
佳作	弘前市	「広報ひろさき」 9月1日号
奨励賞	十和田市	「広報とわた」 10月1日号
奨励賞	深浦町	「広報ふかうら」 12月号
映像部門		
入選	該当なし	
佳作	東北町	「東北町秋まつり」※
奨励賞	平内町	「アオモリーノヒラナイ 椿山クラフトキャンプ編」

審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部長	館花光秀
デーリー東北新聞社	執行役員 青森支社長	木村和彦
陸奥新報社	役員待遇 青森支社長	成田幸男
青森放送	報道局報道部長	鳴海勝彦
青森テレビ	報道制作局次長 兼報道制作部長	成田克彦
青森朝日放送	取締役 報道制作局長	名取光広

町村職員採用試験

平成30年度実施状況と

平成31年度実施について

平成30年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の平成30年度実施状況は下表のとおり。実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国统一試験の七月二十二日（日）と九月十六日（日）の二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

平成31年度実施申込受付中

三十一年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

平成三十一年度町村職員採用統一試験の概要

○試験期日・職種

・第一回（上級試験）

平成三十一年七月二十八日（日）

・第二回（中・初級試験）

平成三十一年九月二十二日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「平成三十一年度町村職員採用試験実施申込書」を、四月二十六日（金）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

・受験者数の報告

第一回（上級試験）は六月二十日（木）、第二回（中・初級試験）は八月五日（月）までに、受験者名簿を本会へ提出願います。

・公募方法

受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定しています。

・経費負担

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目料金を申込人数に応じて負担いただきます。

・個別試験

統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみを行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

平成30年度町村職員採用試験申込者数

(単位：人)

No.	団体名	職 種													合計			
		上 級			中 級					初 級						社会人		
		行政	土木	保健師	一般	社会福祉	保健師	栄養士	看護師	放射線技師	介護支援専門員	一般(身障)	消防	土木				
1	平内町	13										8		6			10	27
2	今別町													4				14
3	外ヶ浜町											14		3				17
4	蓬田村											3						3
5	鱒ヶ沢町					1	3					24						28
6	深浦町				11		2					9						22
7	西目屋村											1						1
8	藤崎町	35					6	6				8						55
9	大鰐町	13	1	6								4						24
10	田舎館村	20										12						32
11	板柳町	9				2	1	11	8	2		8					2	41
12	鶴田町	17	1		1							12					2	33
13	中泊町	9			5													14
14	野辺地町	6										8						14
15	七戸町	19	1									5						25
16	六戸町	13											1					14
17	横浜町	2										2						4
18	東北町	10				3						4						17
19	おいらせ町	29			8		2	8	1		3	13	4					68
20	六ヶ所村	4										10						14
21	大間町	1	1									12						14
22	東通村	4										1						5
23	風間浦村											1					3	4
24	佐井村											8						8
25	三戸町	11		1					1			3					5	21
26	五戸町	9										7						16
27	田子町	2										3					1	6
28	南部町	15		3								13				2		33
29	階上町	8		4														12
30	新郷村											5						5
31	中部上北広域事業組合											14		7				21
32	三戸地区環境整備事務組合											2						2
33	西北五広域福祉事務組合					3												3
34	鱒ヶ沢地区消防事務組合												8					8
35	北部上北広域事務組合												9					9
36	青森県市町村総合事務組合	5																5
37	青森県町村会	13																13
	合計	267	4	14	25	9	15	25	9	2	3	214	5	37	4	19		652

・個別試験
統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみを行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

町村の魅力発信事業助成事業を

是非ご利用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は、平成31年度もこれまでと同様の趣旨で実施しますので、積極的な活用をお願いいたします。

■主な助成内容

- 1 助成金額…1町村当たり、平成31年4月1日から平成32年2月29日までに実施する事業に対し、200万円を限度に実費助成
- 2 助成対象経費
 - ・謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会長が必要と認める経費
- 3 助成対象事業例
 - ・イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
 - ・地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
 - ・産業振興上必要な事業
 - ・地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
 - ・地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業

■申請期限

平成31年5月31日（金）までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

■問合せ先

町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課（電話…017-723-1331）までお問い合わせ願います。

平成31年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日 時	場 所
町村総務課長会議	5月中旬予定	未定
正副会長会議	6月3日（月） 10時30分	町村会会長室
正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議	6月3日（月） 11時	町村会役員室
平成32年度重点施策提案に係る国会議員説明会	6月9日（日） 13時	青森市・青森国際ホテル
県広報広聴協議会 理事会	6月18日（火） 13時	町村会会議室
全国山村過疎地域振興連盟県支部 理事会	6月18日（火） 13時15分	町村会役員室
発電関係市町村全国協議会県支部 総会	6月18日（火） 13時30分	町村会会議室
臨時総会	6月18日（火） 14時	町村会大会議室
市町村総合事務組合 議会臨時会	6月18日（火） 14時30分	町村会会議室
総務厚生委員会・産業経済委員会	6月18日（火） 14時50分	青森市・ラ・プラス青い森
監査会	7月中旬予定	町村会役員室
理事会	8月上旬予定	未定
町村長健康管理研修	8月27日（火）～29日（木）	
	1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修	野辺地町 まかど観光ホテル
	3日目 半日ドック	青森市 あおもり人間ドックセンター
エネルギー政策特別委員会視察研修	未定	未定
理事会	10月予定	町村会役員室
法令外負担金等委員会	10月予定	町村会役員室
町村長行政調査研修	未定	未定
県選出国会議員との懇談会	11月26日（火） 17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月27日（水） 正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 (秋田県・岩手県町村会との合同開催)	11月27日（水） 15時30分	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 (秋田県・岩手県町村会との合同開催)	11月27日（水） 17時15分	東京都・ホテルニューオータニ
町イチ！村イチ！2019	11月30日（土）～12月1日（日）	東京都・東京国際フォーラム



佐井の地域資源を生かして

日本で最も小さくかわいい漁村へ！

村民一人一人が誇りに思える村づくり



認定された地域資源の1つである「仏ヶ浦」

平成二十八年十月、佐井村は、NPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。
連合加盟時から描いている美しい村ビジョンを村の環境、景観・建築、文化伝統などを扱ったさまざまなアクション・プランを実施し、実現していきます。

フランスをモデルにした連合

平成十年代半ば、日本で市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村の存続が難しい時期にあり、新たな「地域の星」を目指し、「日本で最も美しい村」連合として運動を開始しました。

フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスで最も美しい村活動」に範をとり、小さくても輝くオンリーワンを持つ農山村が、自らの町や村に誇りを持って自

立し、将来にわたって美しい地域であり続けることをサポートしている連合です。

連合加盟の目的

佐井村むらづくり基本条例（平成十九年七月施行）の理念に基づき、地域住民が自らの地域を愛し、誇り、そして、未来に向けて元氣な佐井村へ育てる意識を育むために、村が持つ地域資源を活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済発展のため、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

認められた地域資源は、「仏ヶ浦の眺望と生活の営みにより形成された漁村風景」と「福浦の歌舞伎」の保存・伝承となります。

美しい村ビジョン

村では、連合に加盟した当初から、海ゴミ問題や空き家問題などの課題を抱えていました。

連合加盟をきっかけに、二〇三〇年の村では、海ゴミ問題の解決に向け、住民による地道なゴミ拾い活動や、環境団体との連携により、環境への意識が高まっています。空き家問題では、失ったら二度と取り戻すことのできない古民家の価値に気づき、古民家の保全と活用が浸透し、また、

廃校の活用も大幅に進めています。

景観では、村ならではの建築素材や色の見直しも進み、街並みは村の自然とマッチした色合いとなっています。

こうした佐井村の魅力に惹かれて、移住する人も増え、環境への意識が高まった結果、古民家を活用して移住者が起業したり、商売を営んだりして地元の人にも観光客も買い物や食事、宿泊を楽しみ、交流の場や高齢者が生き生き働く職場が増えています。

また、農業や食の分野でも、身体や環境に良い農作物や食品を作る生産者が増え、有機栽培や無農薬栽培が浸透していき、ロケーションを生かして

アクション・プランで掲げるイメージ図



アルサス周辺



色彩の統一やボードウォークを取り入れた漁港

たオーベルジュやレストランをオープンし、海の幸はもちろん、耕作放棄地を活用した放牧も広がり多様な食を提供しています。

さらに、「かわいい北の漁村」に惹かれて佐井村を訪れる長期滞在者や女性客も増えていくことなどをビジョンで想定しています。

美しい村を実現するアクション・プラン

佐井村は二〇三〇年までに「日本で最も小さくかわいい漁村」を実現するために「美しい村をつくる会」を中心に

二十代から七十代までのメンバーが集結し、プロジェクトチームを発足、ビジョン実現

に向けて重点的に実行したいアクション・プランを策定しました。

アクション・プランの内容は次のとおりです。

○有志で協働して村づくり

村の有志でプロジェクトチームを立ち上げ、プロジェクトに必要な学びと実験・実践が行われるプロジェクト・ハウスを作ります。また、村のことや、プロジェクトのことを村内外に発信するためのインターネットテレビを始めます。

○経済的自立のために

地元食材市場をつくり、地産地食を推進することにより、村内での経済循環を高めるとともに、食と地域につい

ての「食育」を子供たちを対象に行います。また、村の名物であるウニについての体験ができるウニ小屋をつくったり、佐井産のワインやクラフトビールを醸造し、それに合うレシピを開発して、カフェやパブ、レストランをオープンします。未利用・低利用の漁港空間を有効活用し、ヨットハーバーなどを設けます。

○世襲財産の継承

青森県無形民俗文化財の指定を受け、百三十年以上にわたり伝承されている「福浦の歌舞伎」は地域の少子化により存続危機にあり、地域外の人に役者の会員登録制度を設け、練習や上演のため来村してもらおう仕組みを設けます。

また、平成三十一年三月に廃校になった福浦小中学校をリノベーションし、全国各地芝居



地元で守り続けてきた福浦の歌舞伎

の交流活動拠点として整備し、役者の練習や上演期間中の宿泊場所として活用します。

○地域資源の保全及び活用のために

漁村風景を磨くため、「村の色」を決め、5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を学び、整理整頓が行き届いた村にしていきます。五月三日を「ゴミの日」として村内一斉清掃に取り組むことや、ゲーム感覚でできる海岸清掃などについて考えます。また、海ゴミ問題の国際ネットワークに加入し他国との情報交換や協働も進めます。

○女性活躍と住民参加の促進

佐井村で「日本で最も美しい村」連合加盟町村の女性を集め、「美しい村女性サミット」を開催し、互いに学び合い励まし合うネットワークを築きます。また、村民全員参加型の運動会を開催して、村の結束力を高めます。

※佐井村二〇三〇「日本で最も小さくかわいい漁村」に関するお問い合わせは佐井村総合戦略課【0175(338)2111】までお願いします。



問い合わせ先 蓬田村ふれあいセンターよもぎ温泉
TEL 0174-27-2170

よもぎ温泉は、平成29年12月にリニューアルオープンしました。140人を収容できる大浴場はそのままに、新たに温泉成分をたっぷり吸収できる「源泉の湯」や、ヒバを全面に使用したサウナができました。

ゆったりとおくつろぎいただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

○開館時間：午前9時～午後9時

○休館日：毎週火曜日

○入浴料：大人 350円

小・中学生 140円

幼児 60円

「源泉100%をご堪能ください」「よもぎ温泉」

いまが旬!
よもぎたむら
蓬田村

東津軽郡



問い合わせ先 鱈ヶ沢町役場 観光商工課
TEL 0173-72-2111

鱈ヶ沢を代表する魚「ヒラメ」は、白神山地の清流が注ぐ日本海で育った逸品。

その極上ヒラメを贅沢にツケにした「鱈ヶ沢ヒラメのツケ丼」は、平成23年5月の発売以来、着々と販売数を伸ばしてきました。

それぞれのお店が工夫を凝らしたツケダレでオリジナルな丼を提供しており、違った味、楽しみ方があります。お好みの一杯を見つけてみてはいかがでしょうか。

※ヒラメのツケ丼ののぼりが目印です。

「ヒラメのツケ丼」は間もなく20万食!

いまが旬!
あしがさわまち
鱈ヶ沢町

西津軽郡



問い合わせ先 中泊メバル料理推進協議会（中泊町水産商工課内）
TEL 0173-57-2111
<http://www.nakadomarimebaru.com>

新・ご当地グルメとして登場してから早3年、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」が2019年4月1日にリニューアルしました。煮付けが味噌と醤油の2種類から選べるようになり、汁物が「メバルの潮汁」へグレードアップ、更にデザートとして「エゴ海苔ようかん」が加わりました!

メバルを贅沢に食べられるのは中泊だけ! 皆さまのご来町をお待ちしております。(メバル膳は町内5店舗で提供中です。詳細は中泊メバル料理推進協議会HPをご覧ください。)

「リニューアル! 中泊メバルの刺身と煮付け膳」

いまが旬!
なかとまりまち
中泊町

北津軽郡



問い合わせ先 七戸町商工観光課
TEL 0176-62-2137

七戸町の春を彩る「天王つつじまつり」が、5月上旬から中旬にかけて七戸町天王神社境内内で開催されます。

樹齢300年以上といわれる大木を含め、約500本の山つつじが皆さまをお出迎えします。真っ赤なつつじが天王神社境内を彩る光景は圧巻です。期間中はライトアップが施され、昼と夜とで違った表情が見られます。

天王つつじまつり

いまが旬!
しちのへまち
七戸町

上北郡

いまが旬!

東北町

とうほくまち

上北郡

東北町の郷土料理「ガニ汁」

モクズガニは、小川原湖の春の味覚として、また郷土料理食材として親しまれてきました。

道の駅おがわら湖では、小川原湖で獲れるモクズガニのもっとも美味しいとされる5月の活ガニだけを使用し、濃厚なダシとカニミソのうま味をぎゅっと凝縮させた「ガニ汁」を販売しています。ぜひ道の駅へお立ち寄りください。



問い合わせ先 道の駅おがわら湖
TEL 0176-58-1122

いまが旬!

大間町

おおままち

下北郡

本州最後の桜まつり

大間町では、5月19日（日）に内山公園桜まつりを開催します。当日は、大間町の特産品「大間牛（別名：陸マダグロ）」の販売もしております。会場の各所では、バーベキューが行われ、大間牛をその場で堪能できます。自慢の歌声を披露するカラオケ大会などで、ステージ発表も盛り上がりを見せております。ぜひ、お越し下さい。（開催日は変更になる場合もありますので、ご注意ください。）



問い合わせ先 大間町観光協会
TEL 0175-37-2233

いまが旬!

南部町

なんぶちょう

三戸郡

2019年南部町春まつり
5/3・4

まつり初日は、華やかな稚児行列が開幕を飾り、ステージでは迫力満点の和太鼓と伝統の郷土芸能が披露されます。

2日目は、寺ヨガや吹き矢、座禅、写経体験など体験イベントが盛りだくさん！（体験メニューは吹き矢以外、事前予約が必要です。）

○日時：5月3日（金／祝）9：30～15：15
4日（土／祝）9：30～14：30

○場所：法光寺周辺



問い合わせ先 南部町春まつり実行委員会
(南部町役場内)
TEL 0178-84-2119

●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬！」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載！

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

● 共済契約できる自動車

- | | | |
|-------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. あなたの所有する | ▶ | ● 自家用普通・小型乗用自動車 |
| 2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する | | ● 自家用軽四輪自動車
● 自動二輪車 ● 原動機付自転車 |

● 共済掛金と共済金額

用途及び車種 区分		共済掛金額（年間）				
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)	
A 型	対人賠償	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,000万円
	限定搭乗者					1,500万円 500万円
B 型	対人賠償	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,500万円
	限定搭乗者					1,000万円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

○町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

43%割引（9等級）からスタート！

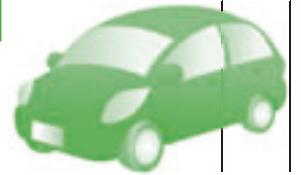
○一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**

○保険料分割払（12回）も選択可能です。

○ロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会業務共済課 [共済事業] TEL 017 (723) 1331



万一の事故に備えを！

自動車共済

青森県町村会等事務分担

(平成31年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

原田 啓一

課・職名・氏名

主要担当業務

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 参事・総務課長(兼)業務共済課業務担当課長事務取扱 総括主幹 吉本 知己 主事 上原俊一郎 主事 阿部由由子 主事 宮越 彩香 臨時事務手 神 楓花 臨時事務手 阿部りる子	人事、規約・諸規程の改廃、予算、関係諸団体等との連絡調整、各業務の調整、総会その他の諸会議、総務厚生委員会、顧問弁護士、表彰、軽自動車税申告台数調べ、文書の收受・発送、各団体の予算経理、現金・有価証券の出納・保管、決算、物品の出納・保管、他の所管に属しないこと
業務共済課 (業務関係) 業務担当課長 吉本 知己 総括副参事 原子美香子 主事 嶋田 裕哉 主事 前田 啓貴 臨時事務手 畑井ゆかり (共済関係) 共済担当課長 澤田 博美 主幹 大坂 謙 主事 佐藤 清子 臨時事務手 松田 清子	(業務関係) 事業計画、町村行財政の調査、産業経済委員会、エネルギー政策特別委員会、法令外負担金の規制、要望・請願、町村長等・市町村職員の研修会、会報「あおもり町村自治」、町村職員採用試験、町村の振興発展に関する調査・研究、県広報広聴協議会、全国山村過疎地域振興連盟県支部、発電関係市町村全国協議会県支部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員火災・自動車共済、特定疾病

確かな安心を！

住宅火災共済



安い掛金で大きな補償を

●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。

契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



青森県市町村総合事務組合

事務局 原 田 啓 一

課・職名・氏名		主要担当業務
課 務 課 総 務 課 会計管理者 参事・総務課長（兼）業務共済課業務担当課長事務取扱 吉本 知己 総 括 主 幹 上原俊一郎 主 事 阿部由子 主 事 宮越 彩香	市町村税滞納整理機構 機 構 長 白戸 雅仁 滞納整理課長 伊藤 義章 総 括 主 幹 平野 法泉 総 括 主 幹 平山 彰夫 主 幹 専 門 員 高橋 淳一 主 事 柿崎 辰圭 主 事 関 俊輔 専 門 員 工藤 悠 専 門 員 横山 晃博 専 門 員 藤田 麻美 専 門 員 福井 宏昭 臨時事務手 山田 直子	市町村税等の滞納整理に関する事務 消防団員等公務災害補償等に関する事務、非常勤職員公務災害補償等に関する事務、自治会館の管理・運営に関する事務

保険、任意共済保険、団体定期保険、総合賠償補償保険、個人年金共済、災害対策費用保険、収入補償保険、消防設備資金

外ヶ浜町長

やまざき
山崎

プロフィール

会社員。

現在1期目、37歳。

ゆいこ
結子



随想

第41話

外ヶ浜町の魅力 海・山の幸と新しい風

外ヶ浜町は、『津軽海峡・冬景色』で「ごらん、あれが竜飛岬」と歌われる津軽半島の最北端、龍飛崎を含む人口六千五百人ほどの町です。北海道新幹線の駅がある今別町を挟み、旧蟹田町・旧平館村・旧三厩村が合併して平成十七年に誕生しました。津軽海峡と陸奥湾に接し、総面積の約九割が山林、そのほとんどが国有林であり、太宰治の小説「津軽」では「本州の袋小路」と描写されました。



龍飛崎歌謡碑

観光地には、世界遺産登録を目指す縄文時代草創期の大平山元遺跡や、松前街道、源義経渡海伝説が残る三厩、青函トンネル記念館、階段国道、龍飛岬などがあり、新鮮な海産物の他に青森ヒバなども有名です。また一年中強い風を利用した風力発電会社を第三セクターで経営しています。町自慢の食材は、早春から順に海では若生昆布やヤリイカ、山ではタラの芽、露の薑蕨、他たくさんの山菜に始まり、大型連休の頃トゲクリガニが旬を迎え、蟹田川でシロウオの踊り食いを楽しめます。雪が解けると筍(ネマガリダケ)を採りに多くの人が訪れます。タイやヒラメもよく釣れ、気候が良いこの時期は特に人気です。

初夏はホタテとウニの季節です。通年食べるホタテですが、刺身には貝柱が厚いこの時期が一番です。七月初旬に行う平館ウニの日は来場者が増え、最近では昼前に完売するので前売券をお勧めしています。南沢のミズも有名で、ホヤとミズの水物は夏の鉄板メニューです。ちなみに龍飛なら八月まで生ウニを食べられるお店があります。

秋、山はキノコの旬です。平館福祉会で栽培している舞茸も、よく採れるサモダシも美味しいのですが、天然の舞茸とナメコはキノコ概念を覆す旨さと言われます。焼干の原料になるカタクチイワシもこの時期の鰯が最適で、東京を始め多くの有名店で使われています。旨みが深くて評価も高いのですが、製造者が減少しています。

冬はマコガレイ、ミズダコ、アンコウ、ナマコ、ホッケなど多くがピークを迎えますが、何と言ってもマグロです。脂が乗る十月以降、値段が跳ね上がります。三厩産マグロが豊洲の初競りで最高値を出すなど、市場の評価も上がり、『大間のマグロ』と同じ津軽海峡のマグロなのに安くてお得』と言われた時代も終わりつつあります。

この他にも当町では近年ホ

タテに続く養殖業を模索しており、龍飛で青函トンネルから湧き出す深層水を利用した龍飛岬金メバルと松川ガレイの養殖に成功しました。三厩ではサーモン養殖も始まり、大変有望だと思っています。

今の時代、自分で商流を確立し商品の値段を決め、資源管理まで行えるなら、世界と直接商売ができます。しかし、味の評価と同じく量産体制と採算性のレベルも高くなければ恒久的な儲けにつながらず、結局は生産者が疲弊してしまいます。人間のエネルギー源が食物である限り一次産業は絶対必要な産業ですので、外ヶ浜が将来も持続して豊かさを享受できるように、宣伝や販売にも力を入れて強い一次産業の確立を目指してまいります。



龍飛岬金メバルの刺身